

首都圏さんりく大船渡人会会報

編集・発行
首都圏さんりく大船渡人会
事務局
〒145-0064
東京都大田区上池台
1-32-11-303
TEL/FAX:03-3729-5431

九月二十三日
台風一過の朝の
タワーには、ま
だ雲がかかって
いましたが、さ
んま無料引換え
券を配り始めた
七時半には、眩
しいくらいの太
陽が顔を出しま
した。今年で十
一回目を迎えた
まつりは、ニュー
スでさんまの不
漁が言われてい
ましたが、

大盛況！三陸・大船渡東京タワーさんままつり

大船渡から当日の朝にトラック
で運び込み、さんま焼き師が精
魂込めて焼き上げたさんま三、
三三三匹を無料で提供しました。

当会は七十名の会員がボラン
ティア参加しました。すり身汁
のネギや豆腐を切り、焼きさん
まに大根おろしとだいたいをの
せての配ぜんや、会場のゴミの

まつり実行委員会一問一答

Q1 東京タワーで提供された
さんまは冷凍ですか？
A1 いいえ！戸田市長のご判
断で、開催直前に水揚げされた
鮮さんまを使用しました

Q2 何人ぐらい来場するの？
A2 今年の来場者は一万人
でした。一番最初のご来場者は
朝四時から並ばれていました。

Q3 焼きさんま以外には何を
どれ位売っているのですか？
A3 まず人気のすり身汁は二
千杯以上二時半に完売！恋し浜
ほたては千枚なんと十一時に完
売、三陸ビール二百杯以上。他
にも大船渡の物産を売ってます。

御礼
さんりく大船渡人会スタッフの皆
さま、大変おつかれさまでした。
おかげさまで、今年も多くの来場
者の方々に、大船渡の旬の味覚を
楽しんで頂くことができました。
感謝、感謝の気持ちで一杯です。
本当にありがとうございました。

大船渡市観光物産協会
事務局 鈴木 弘

**始動！
首都圏さんりく大船渡人会新体制でスタート！
門馬新会長の心意気**



門馬幸夫、埼玉県飯能市在住、
七十二歳、駿河
台大学名誉教授、
立正大学文学部
非常勤講師、
さんりく・大船
渡ふるさと大使

本年七月に、首都圏さんりく
大船渡人会の会則が改定され、
新会則に基づき幹事会にて承認
され、新しく会長に選出されま
した門馬幸夫です。

この会則改定では第一条の
「目的」が「会員相互の親睦と
交流、及び大船渡市の地域振興
に寄与すること」と、従来の
「親睦・交流」のみではなく、
「地域振興」への寄与を明記す
ると共に、幹事・役員を体制を
整理いたしました。

会員の皆様におかれましては、
この趣旨をご理解いただき、よ
り一層の大船渡人会に対するご
支援・ご鞭撻をお願い申し上げ、
私の挨拶いたします。

新会長に一問一答

Q1 好きな食べ物はなんですか
A1 好きな食べ物というより、
食べ歩きが好きです。とんかつ、
イタ飯、寿司、鰻などなど。

Q2 趣味はなんですか
A2 パソコンの自作、ハイレゾ
のクラシック音楽を聴くこと、
海外旅行などです。

Q3 健康維持の秘訣はなんですか
A3 散歩をすることです。（が、
これが中々できません。）

*役員会より 会則変更の内容
と、新役員、新幹事については、
つどいの際にご説明いたします。

**会員の皆さまへ
《事務局よりお知らせ》**

皆さんの活動や、趣味、交流
などの情報をお寄せ下さい。電話、
1面の事務局迄、手紙、下記の手紙、
ファックスもしくは、下記の
メールアドレスへお願いします

suzuki-fruitbasket@siren.ocn.ne.jp

事務局長 鈴木浩二

**第七回
首都防災ウィーク参加**

首都防災ウィークは毎年九月
一日関東大震災の日から墨田区
横綱公園で、
一週間行わ
れます。関
東大震災百
年まであと
四年！「過
去の体験を
学び、伝え、
迫りくる次
の大地震の
被害を軽減しよう！」のキャッ
チフレーズの下、九月八日に本
会ボランティアの二十三名が参
加しました。

初の高校生ボランティア約四
十人に、
ボーイス
カウト約
四十人の
若人の応
援も頂き、
地震防災
と東北復
興の連携
交流がで
きました。



講演会・フォーラム・コンサ
ト、そして大船渡津波伝承館の
防災紙芝居「吉浜のおゆき」公
演に多くの方が来場されました。
大船渡産さんま六三四（武蔵）
匹の炭火焼き、大船渡市の観光
物産の販売をしました。さんま
の煙と真夏のような太陽でこん
がりと日焼けしました。



編集後記このお便りが届くこ
ろには、大船渡高校佐々木朗希
投手の進路が決まっていますこ
とでしょう。ワクワクします。

この会報の題名の挿絵は、大
船渡市出身の画家、三浦千波さ
んのご協力のもと、作品をモチ
ーフにさせて頂き作成しました。
最後になりましたが、毎回会
報発行の際に、短歌を寄稿して
頂いていた、志田三夫前幹事、
前大船渡高校同窓会支部長がご
逝去されました。ここに冥福
をお祈り申し上げます。

今年の「さんりく大船渡人会つどい」は心に残るピアノとギターの夕べ

大船渡市出身 桑原裕子、桑原花子、山田タマル初のライブ



桑原裕子（ピアニスト）
桐朋学園大学ピアノ卒。多彩な音楽活動を行う。二〇一一年より相模原市にて、東日本大震災チャリティコンサートを企画運営。現在は毎年大船渡に出向きコンサートを開催、学校訪問での演奏を行う。さんりく・大船渡ふるさと大使。



桑原花子（ピアニスト）



山田タマル（シンガーソングライター）

十一月三十日土曜日、正午から日暮里ホテルラウンジウッドで行われる「つどい」今回は音楽家のお三方をお招き。豪華なライブを催します。

母桑原裕子の手ほどきをうけ、六歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、パリに留学、コンクールで活躍し帰国。国内各地で演奏活動をしながら、後進の指導にあたりている。ピアノ教室の代表。山田タマル（シンガーソングライター）二〇〇六年資生堂マキアージュ・コマーシャル曲「My Brand New Eden」のメジャーデビュー。アルバムリリースやライブ活動と共に、テレビ・ラジオの番組テーマ曲やコマーシャル曲を作曲、さらに舞台や映画音楽監修も務める。舞台やドラマにも出演する等、多方面に活躍の場を広めている。さんりく・大船渡ふるさと大使。



●盛町灯ろう七夕まつり
八月六〜七日

大船渡町一万トン岸壁に花火が復活！夜空に八千発の花。歌謡ショー、海上七夕湾内巡航や、市民の皆さんによる道中踊りで、町中に笑顔の花も咲きました。



●三陸・大船渡夏まつり
八月二日〜三日

大船渡市内では、毎年夏に各地区でお祭りが催されます。一部紹介させて頂きます。来年の夏是非！行ってきしゃっせん。

さんりくの夏のイベント

「東北を、日本を、花火で、元気に。」をスローガンに始まった「ライトアップニッポン」。越喜来会場では地元の皆様は独自に音楽イベントを立ち上げ催しています。

●三陸港まつり 八月十六日
こちらも越喜来のお祭り。鎮魂と供養のため郷土芸能の奉納も行われます。吉浜こども鑑舞や浦浜こども鑑舞に始まり、浦浜念仏鑑舞、金津流浦浜獅子躍などの芸能を披露しました。



特集

さんりくの海と山を感じて 当会副会長 藤原ミツコさんの旅
縦断紀行
163km 開通

東北新幹線で八戸駅に向かった六月二十九日。旧友と待ち合せて、市内観光。魚市場でとれたての沢山の魚を見ていたら、おながすいてきたので、市場内でお寿司を頂く。午後八時おた神社観光し、八戸に宿泊した。



三陸鉄道に乗る二日目、最北の久慈駅から乗車。全線開通でなかなかの混雑、宮古で乗り換えして、釜石からはゆったり。

楽しく会話しつつ、恋し浜駅でホタテ神社にお参り、色々な願い事がたくさん書いてある。

終点盛駅に到着、163kmを一日で縦断、北から南へと六時間の充実した旅、車窓から見える景色は、大分復興が進んでいると感じた。

この日は碓石海岸まで足を伸ばし久しぶりに散策、夕方にはその日の宿、『夏虫のお湯つ子』へ、温泉に癒されて、長旅の疲れを癒した。ふるさとを感じた良い旅だった。

*台風十九号の影響で久慈釜石間が当面運休となっています。全面復旧をお祈りいたします。



楽しく会話しつつ、恋し浜駅でホタテ神社にお参り、色々な願い事がたくさん書いてある。

郷土の新レシピ

さんまのポン酢煮

材料・さんま二匹、生姜三〜四片、ポン酢八〇cc、酒大さじ二、砂糖大さじ一、五杯、大葉二枚



でほでやうんめやごと

- ①さんまの下処理、頭のところに骨までと、肛門の少し上に一センチ包丁をいれ、頭を優しく引き抜くと内臓がとれます。
- ②鍋に、調味料、さんまを並べてひたひたに、水をたします。落し蓋をして、十〜十五分中火で煮ます。
- ③大葉をちらして完成です。



鎌田水産株式会社
世界三大漁場三陸より確かな品質と鮮度をお届けします
0120-27-8470
http://3riku-aji.com

株式会社 味の伝承
小さなお菓자에真心をこめて
東京支店
〒105-0004 東京都港区新橋一丁目七番新橋NFビル二階
TEL 03(3550)9668
FAX 03(3550)9667

株式会社 佐昭建設
代表取締役 佐藤昭二
東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目二番
電話 (五五五)三〇三三
FAX (五五五)三〇三三

鉄筋・鉄骨・木造建築 設計施工
マンション内装・店舗内装・外溝工事
株式会社 佐昭建設
代表取締役 佐藤昭二
東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目二番
電話 (五五五)三〇三三
FAX (五五五)三〇三三